

2016年6月6日

「みんなの文字®」ビットマップフォント版の受注生産を開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会※（UCDA※¹／理事長：在間 稔允）と共同で、読みやすさを科学的に検証したフォント「みんなの文字」※²のビットマップフォント版を新たに開発しました。その受注生産を本日より開始します。

企業や自治体が発信する情報が、多くの方にきちんと伝わっているか、情報の見やすさ、わかりやすさが問われる時代になっています。電通の社内横断チーム「電通ダイバーシティ・ラボ」では「見やすさプロジェクト」を立ち上げ、科学的な根拠をもって「わかりやすさの基準づくり」をしている UCDA と、UD フォントの先駆けである株式会社イワタとともに、さまざまな使用シーンでより使い勝手の良いフォントの共同開発を進め、2012年4月に「みんなの文字®ゴシック体」を、2016年3月に「みんなの文字®明朝体」を世に送り出しました。

発売以来、「みんなの文字」は高評価を得ており、自治体の通知物や申込書、企業パンフレットなどの案内書類、CSR レポートなど多方面で使用されています。

そしてこの度、新たにビットマップフォント版の開発に至りました。ビットマップフォントは銀行通帳、ATM 画面表示、スーパーマーケットなどのレジのレシート、食品のパッケージラベル、電光掲示板など、私たちの日常生活に密着した場面で広く使用されるフォントで、視認性の高さが求められます。そうした意味でも、当社と UCDA は、ビットマップフォント版の普及が「みんなの文字」全体の普及・拡大に貢献してくれるものと期待しています。

以上

※一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会（UCDA）は、科学的根拠に基づきコミュニケーション・デザインにおける「わかりやすさ」の認証を行う国内唯一の機関。「見やすいデザイン」と「伝わるデザイン」の第三者認証を行っています。

※UCDA フォント「みんなの文字」とは、UCDA と東京電機大学工学部准教授矢口博之氏が開発した特許 IPO 評価を基に制作し、UCDA の認証委員会が「わかりやすい文字」として認証された書体のことです。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
長澤、湊 TEL：03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 電通ダイバーシティ・ラボ
伊藤 TEL：03-6216-0908